


# 旅

本号のポイント！

p.4　令和7年度決算の認定
p.11 政治倫理審査会審査結果の公表、可決された発議

◀裏面に表紙紹介あり！

撮影・タイトル　伊豆総合高校土肥分校 商業部写真班　菊池（きくち）　健（けん）さん

2026.11.1発行
伊豆市【No.90】
議会だより

# ９月定例会で審議した議案

| 全会一致で適任・可決した議案等 | |
|---|---|
| 令和8年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算（第3回） | 令和8年度伊豆市介護保険特別会計補正予算（第1回） |
| 人権擁護委員候補者の推薦について | 令和８年度伊豆市一般会計補正予算（第５回） |

| 賛否が分かれた議案 | 尾垣 和則 | 飯田 大 | 浅田 藤二 | 小川多美子 | 黒須 淳美 | 鈴木 優治 | 波多野靖明 | 間野みどり | 青木 靖 | 三田 忠男 | 小長谷順二 | 森 良雄 | 木村 建一 | 議決結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 令和７年度伊豆市一般会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ 討論 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ 討論 | ○ | ○ | ○ | ○ | × 討論 | × 討論 | 認定 |
| 令和７年度伊豆市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | 認定 |
| 令和７年度伊豆市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 認定 |
| 令和７年度伊豆市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 認定 |
| 令和７年度伊豆市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 認定 |
| 令和７年度伊豆市水道事業会計決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 認定 |
| 令和７年度伊豆市下水道事業会計決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 認定 |
| 令和７年度伊豆市持越財産区特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 認定 |
| 令和７年度伊豆市市山財産区特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 認定 |
| 令和７年度伊豆市門野原財産区特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 認定 |
| 令和７年度伊豆市吉奈財産区特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 認定 |
| 令和７年度伊豆市月ヶ瀬財産区特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 認定 |
| 令和７年度伊豆市田沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 認定 |
| 令和７年度伊豆市矢熊財産区特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 認定 |
| 令和８年度伊豆市一般会計補正予算（第４回） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| 令和８年度伊豆市水道事業会計補正予算（第１回） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| 令和８年度伊豆市下水道事業会計補正予算（第１回） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| 公共施設使用料等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ 討論 | × | × 討論 | 可決 |
| 伊豆市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| 伊豆市水道事業会計建設改良積立金の目的外使用について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| 静岡県議会議員選挙における伊豆市代表性の確保を求める決議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × 討論 | ○ | 可決 |
| 「議案第 74 号　公共施設使用料等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について」に対する附帯決議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | 可決 |
| 伊豆市 41 公共施設料金値上げに関しての請願 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ 討論 | ○ | ○ | ○ 討論 | × | × 討論 | 不採択 |

※議長（下山　祥二）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。
※詳細は定例会最終日の録画配信をご覧ください。



録画配信はこちら▶





# 令和８年伊豆市議会

## ７月臨時会

会期：令和８年７月 24 日（金）

可決

「一般会計補正予算（第３回）」
補正額【5,400 万円】

- 緊急的な財政支出に備える予備費の増
  補正額【5,000 万円】
- 熊坂小学校雨漏り修繕等維持補修工事
  補正額【400 万円】

可決

「国民健康保険特別会計補正予算（第２回）」
補正額【165 万円】

- 国保高額療養費制度改正に伴う
  システム改修委託料

## ９月定例会

会期：令和８年９月３日（木）～９月 30 日（水）

### ◆会期日程及び議会活動

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 8/31 | 9/1 | 2 | 3<br>本会議初日<br>全員協議会<br>議会広報委員会 | 4<br>全員協議会<br>議会運営委員会 | 5 | 6 |
| 7<br>本会議２日目<br>（一般質問） | 8<br>本会議３日目<br>（一般質問） | 9<br>本会議４日目<br>（一般質問）<br>議会運営委員会 | 10 | 11<br>本会議５日目<br>（議案質疑）<br>議会運営委員会<br>議会改革推進<br>特別委員会 | 12 | 13 |
| 14<br>連合審査<br>（総務経済<br>委員会所管分） | 15<br>連合審査<br>（教育厚生<br>委員会所管分） | 16<br>総務経済委員会 | 17<br>教育厚生委員会 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30<br>本会議最終日<br>全員協議会<br>議会広報委員会 | 10/1 | 2 | 3 | 4 |



※会期日程以外の詳しい議員の活動はホームページに掲載
議会の活動はこちら▶

### 要チェック議案

CHECK!!

- 議案第 55 号～ 68 号 令和７年度各会計決算の認定
- 議案第 69 号 令和８年度伊豆市一般会計補正予算（第４回）

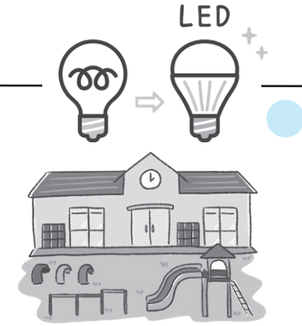
### 令和８年度伊豆市一般会計補正予算（第４回）

**詳　細**　※１万円未満は切り捨て

**総務費：一般管理費【1,164 万円】**
（福祉施設等物価高騰対策支援金交付事業 他）

**民生費：こども園費【880 万円】**
（こども園等の LED 化施設改修工事）

**衛生費：上水道費【3,332 万円】**
（物価高騰対策に係る水道料金の基本料金減免のための繰出金の増）

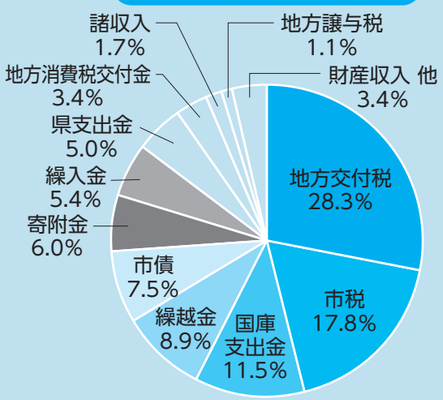


# 令和７年度決算 税金の使いみちをチェック

何に使われた？

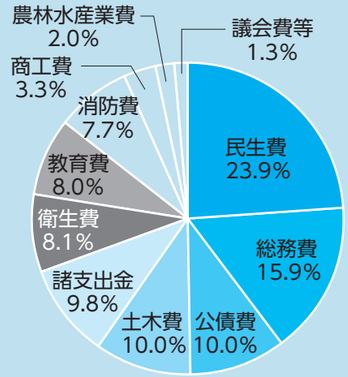
＊＊＊　一般会計歳入歳出額　＊＊＊

## 歳　入




＊＊総額 236 億 4,261 万円＊＊

## 歳出（使ったお金）




＊＊総額 226 億 8,447 万円＊＊




## ■令和７年度の主要事業（一部）




ひなた公園

・公園整備事業
（ひなた公園整備工事 他）
（5億 7,334万円）

**土木費（22億 6,103万円）**



危機管理センター

・防災対策事業
（危機管理センター整備工事 他）
（9億 169万円）

**消防費（17億 4,393万円）**



校舎を解体し、一部改修した
八岳（やつおか）コミュニティセンター

・公有財産管理事業
（旧八岳小学校解体改修工事 他）
（1億 5,581万円）

**総務費（36億 1,511万円）**

## 令和７年度各会計決算総括表

| 会計名 | | 歳入 | 歳出 |
|---|---|---|---|
| 一般会計 | | 236億4,261万円 | 226億8,447万円 |
| 特別会計・企業会計 | 公共用地取得事業 | 1,507万円 | 1,507万円 |
| | 国民健康保険 | 37億1,469万円 | 36億　813万円 |
| | 後期高齢者医療 | 6億3,824万円 | 6億3,746万円 |
| | 介護保険 | 40億1,820万円 | 36億9,165万円 |
| | 財産区（7財産区） | 648万円 | 201万円 |
| | 水道事業 収益的 | 6億8,698万円 | 7億6,210万円 |
| | 水道事業 資本的 | 2億3,757万円 | 3億7,583万円 |
| | 下水道事業 収益的 | 12億8,633万円 | 13億2,428万円 |
| | 下水道事業 資本的 | 7億3,351万円 | 7億7,136万円 |
| 総合計 | | 349億7,968万円 | 338億7,236万円 |

※万円未満を四捨五入しています。
※水道事業・下水道事業の不足額は、補填しています。

### 基金とは？

市の預貯金のことです。将来にわたり安定した事業展開を行えるよう、積み立てています。

**令和７年度伊豆市基金総額**

一般会計のみ（18基金）

○積立額 …… 22億2,006万円
○取崩額 ……11億9,155万円
○年度末現在高…103億6,802万円







9/14・15

# 連合審査会



# 令和７年度伊豆市一般会計決算

## 質疑（総務経済委員会所管）

**Q** 道路管理事業の道路境界確定図電子化業務について、電子化のメリット、電子化の進捗状況は。

**A** 各種路線の面積や延長等が、的確に庁舎内で見られるようになり、素早い対応が可能となりました。また、令和7年度の進捗状況は、49か所の電子化を行いました。

**Q** わさびの郷推進事業について、外国人が198％と増加しているが、増加している要因、集客に向けた取組をどのように行ったか。

**A** 外国人の集客が伸びていることは、旅行会社への周知が浸透してきたことや、SNS等での発信があげられます。集客は、食べ比べ体験や、フォトスポット整備、夏祭り、バレンタインなどのイベントを開催し、集客につなげました。

**Q** 防災対策事業の感震ブレーカー補助金は21件ですが、これは増えているのですか。令和7年度はどのぐらい広報してこの件数になったのか。

**A** 広報は、市の広報紙、メール、ホームページ等で周知しています。感震ブレーカーは、令和6年度は、途中からの新しい補助制度だったため、25件の申請がありました。令和7年度は、21件で若干減っていますが、これからも引き続き周知して、交付件数を増やしていきたいと思っています。



## 質疑（教育厚生委員会所管）

**Q** 消費者生活指導事務事業について、相談員が有している資格や、パイオネットシステムの具体的な活用方法は。

**A** 相談員は、「消費生活相談員」の国家資格を有しています。

パイオネットシステムは、全国の消費生活センターをオンラインで結び、相談情報を収集・蓄積しているデータベースで、情報収集に必要不可欠です。

**Q** 令和7年度における市の詐欺対策の取り組みは。

**A** 市情報メール等を通じた、最新の悪質事例の迅速な情報発信を行いました。



**Q** 市内公的病院の令和7年度末における経営実態の把握状況、伊豆赤十字病院の小児科時間外診療の実績に対する評価は。

**A** 市内公的病院は、安定して運営ができており、小児科時間外診療は医師不足で途中から早朝の実施ができていない状況ですが、夜間は例年並みに利用されており、今後も補助金により赤字補填をしながら継続していきたいと考えています。



連合審査の概要書はこちら▶



# 9/11 議案質疑
# 9/16・17 常任委員会

## 議案質疑

### ◆令和7年度伊豆市一般会計歳入歳出決算の認定について

**Q** 移住定住促進事業が、市外からの転入促進と、市からの転出抑制にどのように寄与したのか。

**A** 令和7年度の「いずぐらし促進補助金」は35件の実績がありました。

転入促進は、市外からの転入による住宅取得が10件で、少子化が進む中、本市を選ぶ大きな動機付けとなり、新たな定住人口の確保に直接寄与したと考えています。

転出抑制は、市内居住者による利用が25件あり、ライフステージの変化に応じた住環境の改善を後押しし、本市への定住意識を高め、将来的な市外流出を未然に防ぐ「守りの定住対策」として機能していると評価しています。



## 総務経済委員会

### ◆公共施設使用料等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

**Q** 観光施設の指定管理者と、どのような協議をして上限を決めたか。統一的な算定基準があったのか。

**A** 指定管理者と、経費に関しては相談しながら算定を進めました。算出基準は、一律になっていますので、特に指定管理者に何かを委ねるようなことはありません。

**Q** 上限を決めた経緯について、17施設は、指定管理者が設定できる料金の上限ということで、市と協議して決定し、事業者が勝手にいつからいくらにすることはせずに、両者で協議をしながら、金額を決めるのか。

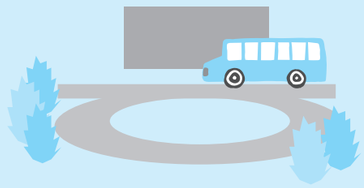
**A** 今回改定する料金は上限なので、改定後の料金については、最終的に指定管理者との協議によって決まります。

## 教育厚生委員会

### ◆令和8年度伊豆市一般会計補正予算（第4回）

**Q** 中伊豆小学校移転に伴うバスロータリーの整備は、保護者や児童からの要望か、行政側からの提案か。また、整備により児童生徒や住民の安全性・利便性は、どのように向上すると考えているか。

**A** 行政からの提案で進めており、現在の八幡（はっま）バス停周辺が狭いことによる危険性の解消に加え、今後のバス運行の円滑化や、中伊豆地区の新たな交通の結節点としての活用を見据えて、ロータリーを整備するものです。



! 委員会の概要書はこちら▶





次のページは▼



# 市政を問う
## ～一般質問～

録画配信へ

手順1 カメラアプリを起動

手順2 二次元コードにカメラを向ける

手順3 画面下部に表示されたリンクを押す

検索 伊豆市議会 ライブ中継 からご覧ください。

**※一般質問記事の作成にあたり、AIを活用しています。**
※各議員の二次元コードから一般質問を動画で見ることができます。

## 質問 Question 水難事故から身を守る着衣泳法



小川（おがわ） 多美子（たみこ） 議員

小学校や県立高校ではプール授業がありますが、中学校でプールの授業がないのはなぜですか。小学校はプールを民間委託することで、授業時間が減ることはありませんか。着衣泳法を取り入れていない理由や、市内小学校のプールを利用する検討の余地はありませんか。

**答弁**

中学校は保健体育で多領域をバランスよく指導する必要があり、水泳の時間確保が難しく、施設維持の負担や体格・泳力差による安全確保の課題もあるため、近隣校でも未実施が増えています。小学校は、バス移動の往復に予備時数を確保し、令和8年度は各校5回を予定しています。

着衣泳法は「ふれっぷ」が一般市民も使う施設で衛生管理の課題があり、未使用の小学校プール活用も、清掃や移動時間などの課題が多く、直ちの実施は困難です。しかし、重要性は承知しているため、水難事故防止教育の在り方を引き続き研究していきます。

動画はこちら
※他の質問あり

## 質問 Question 公共施設使用料等の値上げ



木村（きむら） 建一（けんいち） 議員

公共施設の本質と役割をどのようにとらえていますか。施設の運営にかかる経費を使用料等で賄うのですか。また、改定により使用料等が約930万円の増になる予想とのことですが、使用料等の改定以外の選択肢は検討されましたか。

**答弁**

「公の施設」は、法律では「住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設」とされ、個々の施設は条例で設置目的等を規定しています。

現行の使用料等は、コストバランスや物価上昇、人件費の高騰などの社会情勢と見合っていないため改定するものであり、運営に係る経費すべてを使用料等で賄うものではありません。統一的な算定基準に基づき使用料等を算定することが目的であるため、使用料等の改定以外の選択肢は検討していません。



動画はこちら
※他の質問あり

## 質問 Question 残された課題と来年度予算編成方針



三田（みた） 忠男（ただお） 議員

令和7年度に残された課題と来年度の予算編成方針を伺います。継続・廃止事業の判断基準、議会・団体・市民の要望等の反映、そして市長・教育長が来年度予算で一番に取り入れたい事業について伺います。

**答弁**

総合計画の目標実現に向け、実効性ある施策を予算に的確に盛り込みます。令和7年度の取り組みは概ね順調に進んでおり、成果や状況変化等を踏まえて次年度に臨みます。

要望等は緊急性・必要性・公益性等を検討し、反映を判断します。

市長が取り入れたい事業は、観光を中心とした産業振興、災害死者ゼロを目指す防災、25年後の伊豆市を予測する取り組みの3つです。教育長は、中伊豆小学校の新築など、新しい学校づくりと、既存施設の改善による教育環境の整備を重点とします。

動画はこちら



## 質問 Question 農作物盗難被害の防止対策



波多野（はだの） 靖明（やすあき） 議員

本年7月、湯ケ島のわさび田で大量のわさびが盗まれる事件が発生しました。

また、全国各地においても野菜や果物などの農作物が大量に盗まれる被害が相次いでいます。盗難を生産者だけの問題とせず、警察やJA、関係機関と連携し、農家を守るために、市として今後どのような対策を講じる考えがありますか。

**答弁**

事件発生を受け、JAの伊豆の国わさび委員会から被害発生と注意喚起が中伊豆・天城湯ケ島の全会員に発出されました。これまでの対応として、生産者、JA、警察に市も加わり、注意喚起看板の作製・設置や巡回の強化を図っています。

JAのネットワークを通じた※トレーサビリティの確保や、不審な流通があった場合の情報共有体制も取られています。

今後も、関係者の連携と情報共有を図り、地域のみなさまにも目を光らせていただき、地域ぐるみで対応することが最大の対策と考えています。

※商品の生産から消費までの履歴を追跡できる仕組み

動画はこちら
※他の質問あり

## 質問 Question ふるさと納税を地方創生のエンジンに



小長谷（こながや） 順一（じゅんいち） 議員

ここ数年、ふるさと納税の寄附額の伸び率は緩やかになっており、今後は返礼品の充実だけではなく、地域資源を最大限に活用したシティプロモーションや地方創生へ発展させる視点が重要です。ふるさと納税を入口として交流人口・関係人口の拡大、さらには移住・定住や地域産業の振興へつなげる戦略について伺います。

**答弁**

寄附額の伸びが鈍化している要因は、制度改正に伴う市場の伸び悩みや、返礼品基準の厳格化が要因と考えます。

今後は、地場産品や体験型商品の拡充、事業者支援に取り組むとともに、ふるさと納税とシティプロモーションを地方創生の重要な「入口」として、本市を知り、訪れる機会を増やします。さらに関係人口を増やし、移住・定住へつなげ、「首都圏における心地よい田舎暮らし」ができるまちとしてのブランドの確立を目指します。

動画はこちら





## 質問 Question 健康づくり施策と健康マイレージ



飯田（いいだ） 大（だい） 議員

「伊豆市健康マイレージ」の実施状況はいかがですか。利用対象者を20歳以上とした理由、協力店舗の確保方法、本事業の成果、また健康づくり施策で成果が上がった事業があるか伺います。

**答弁**

令和7年度の参加者数は162人で、前年度の144人から18人増加し、ポイントカード提出も475枚に増えています。若い世代から健康に関心を持つことが重要と考え、本事業により、将来的な健康寿命の延伸につなげたいと考えています。協力店舗は商工会を通じた募集と、保健師・栄養士が事業所と直接対話する方法で確保しています。運動や健診受診が「目に見える形」になることで、関心が薄かった層の運動習慣の定着や健診受診率の向上につなげています。げんきフィットネスを通じ、働き世代の参加を得ています。

動画はこちら



## 質問 Question かかりつけ薬局を活かし健康支援の充実を



黒須（くろす） 淳美（あつみ） 議員

本年6月の調剤報酬改定を含め、薬剤師の役割がより地域の健康支援へ広がっていることを、市はどのように認識していますか。現在、健康相談・子育て支援・在宅医療・災害時支援などで、薬局や薬剤師とどのような連携を行っていますか。今後、市民への周知や健康支援につなげていく考えはありますか。

**答弁**

最新の改定では在宅訪問指導や地域連携、服薬指導・健康相談が重視され、かかりつけ薬局は、住民の身近な健康相談の窓口として強く求められていると認識しています。市は薬剤師会に、健診・がん検診の受診勧奨、居宅療養管理指導、店頭での健康相談、小児科の紹介、在宅医療連携推進協議会等への参画、総合防災訓練での協力などで連携しています。

今後も連携して、市民の健康支援につなげることは重要な取り組みと考え、気軽に相談でき、かかりつけ薬局を持てるよう周知・広報をしていきます。

動画はこちら

## 質問 Question 修善寺駅西口の芝生広場



森（もり） 良雄（よしお） 議員

現在の目土は石の粉のようで保水性がなく、芝の生育には不適格です。目土を入れ替える考えはありませんか。また、利用者に喜ばれる芝生広場にしませんか。

**答弁**

現在の目土は、多くの人が利用する駅前という特性や水はけを考慮して採用しており、現時点での全面的な入れ替えは考えていません。

芝生広場は、鉄路で来られる方々の玄関口に位置し、地域の活性化とにぎわいを創出する重要な拠点です。現在はイベントの開催やキッチンカーの出店など、多くの皆様が利用しており、親しまれる芝生広場となっています。




動画はこちら
※他の質問あり

## 質問 Question 災害発生時における市の対応



尾垣（おがき） 和則（かずのり） 議員

避難所となる学校体育館の空調設備は、どの学校で検討が進み、非常用電源を含めた計画がありますか。また災害時の給水体制について、現在の給水車や給水拠点で、何人程度に何日対応できると想定していますか。

**答弁**

空調は各校の整備時期を踏まえ順次進め、まず中伊豆小学校と、修善寺地区の新小学校の2校を検討中です。避難所利用を前提にガスヒートポンプ方式を基本とし、非常用電源は費用等を考慮して最適な方式を検討します。

給水車は1回2，800リットルを運搬でき、1人1日3リットル換算で約930人分の供給能力です。また、各避難所に設置した容量350リットルの簡易給水槽に、機動的に補水して回ることにより、1回の補水で約110人分に対応できる計算です。




動画はこちら

## 質問 Question 避難所の施設整備の状況は



青木（あおき） 靖（やすし） 議員

伊豆市地域防災計画に基づく避難所施設の現状をどのように捉えていますか。雨漏り改修・空調設備設置で陳情も出ている大東地区の指定避難所は、一年前からどの程度改善しましたか。また大東地区以外の避難所の今後の方向性を、財政の見通しを含めて伺います。

**答弁**

市は23か所の指定避難所と4か所の自主避難所を指定し、食料・飲料水、簡易トイレ、簡易ベッド等の備蓄整備を進めています。また、防寒・防暑対策にも取り組んでいます。

指定避難所である旧大東小学校の体育館は、現状確認と隣接する校舎の活用の可能性を確認した段階で、改善には至っていません。今後は体育館の改善・校舎活用等を検討します。他地区も老朽化や防寒・防暑対策が課題であり、限られた財政状況の中で、優先順位や公共施設の再配置を踏まえ整備を検討します。

動画はこちら

## 質問 Question 地域の担い手不足解消



浅田（あさだ） 藤二（とうじ） 議員

発足から10年以上経つ地域づくり協議会の今後の展望、地域と学校のつながりの現在とこれから、そして移住者とのつながりを深めることについて、コミュニティ不足の対策を今後どのように考えていますか。

**答弁**

担い手不足の本質は「人の不足」ではなく「つながりの不足」にあると認識しています。イベント中心の活動から脱却し、顔の見える関係を築ける「開かれた組織」への転換を図り、協議会が主体的に関われる地域づくりの拠点となるよう伴走型の支援を強化します。中学生世代と大人が日常的に関わる機会の創出は重要で、学校と地域の連携を深めます。更には移住者と地域住民が交わる場づくりや情報共有も後押しし、誰もが活躍できる地域コミュニティの形成に努めます。



動画はこちら





## 伊豆市議会議員政治倫理条例に基づく審査結果の公表

結果報告書はこちら▲

【請求者議員】小長谷 順二　【連署議員】飯田大、浅田藤二、鈴木優治
【審査対象議員】森　良雄
【審査を求める内容】森良雄議員に対し、議会は「戒告」の懲罰決定をしたが、その後も不適切発言を行ったため、政治倫理審査会が開催され、「本会議への出席自粛勧告」の決定がされた。これら決定に関わらず、土肥地区の津波避難複合施設「テラッセオレンジトイ」及び津波災害特別警戒区域(オレンジゾーン)に関し、議会で不適切な発言を繰り返した。これらによる令和８年６月定例会の森良雄議員の一般質問における不適切発言および、令和８年７月に新聞折り込みで配布された「森よしおニュース」の記載内容
【政治倫理基準】伊豆市議会議員政治倫理条例第３条第１号および第７号※該当について
【審 査 日】令和８年７月24日、７月30日、８月10日【３回】
【委　　員】委員長　波多野 靖明、副委員長　黒須 淳美、尾垣和則、小川多美子、間野みどり、青木靖、三田忠男、木村建一【8名】

### 審 査 結 果

条例第３条第１号及び第７号※に違反する行為があったことを認める。

［決定した措置］伊豆市議会議員政治倫理条例第6条第4項第5号の「議員の辞職勧告」

※第1号：市民全体の代表者として、名誉と品位を損なうような一切の行為を慎み、その職務に関して不正の疑惑を持たれるおそれのある行為をしないこと。
第7号：議員の発言又は情報発信は、確たる事実に基づいて行うこととし、虚偽の事実により他人の名誉を毀損する行為をしないこと。

## 可決された発議

▲詳細は議会配信から

### 発議第１号　静岡県議会議員選挙における伊豆市の代表性の確保を求める決議

９月７日可決 内容

1 伊豆市単独選挙区の維持について
2 人口だけを基準としないこと
3 人口減少地域の代表性を確保すること
4 地域住民への十分な説明

### 発議第２号　「議案第 74 号 公共施設使用料等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について」に対する附帯決議

９月 30 日可決 内容

本議案により使用料等を改定するにあたり、減免について、市民に対し、十分に判り易く説明し、丁寧に広報すること及び最終的な料金改定額については、指定管理者との協議の結果を、丁寧に広報すること。



次のページは▼

表紙写真の紹介・アンケート募集・編集後記



## 表紙写真の紹介！

伊豆総合高校 土肥分校
商業部写真班1年　菊池（きくち）　健（けん） さん

何気なく過ごしている「イマ」は、いつか「青春」と呼ばれる日が来て、やがて記憶から消えてしまうかもしれない。だから、今しかない「イマ」を写真にアーカイブして、いつでも振り返れるようにしたいと思い、この一枚を撮りました。

## 12月定例会の予定

12月定例会は

**11月30日(月)から**

時間：**午前9時30分** から
場所：**議場**（本庁2階）

※本会議はインターネットで生中継
＃常任委員会はYou Tubeで公開
（会議3日後～定例会最終日）

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 11/30<br>本会議初日※<br>議会広報<br>委員会 | 12/1 | 2<br>本会議2日目<br>（一般質問）※ | 3<br>本会議3日目<br>（一般質問）※ | 4<br>本会議4日目<br>（一般質問）※ | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9<br>本会議5日目<br>（議案質疑）※ | 10<br>総務経済<br>委員会 ＃ | 11<br>教育厚生<br>委員会 ＃ | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18<br>議会運営<br>委員会<br>（予備日） | 19 | 20 |
| 21 | 22<br>本会議最終日※<br>議会広報<br>委員会 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |

＊日程は変更となる場合があります

## アンケートにご協力お願いします！

### アンケート回答フォーム

アンケート内のそのほか感想やご意見欄には、
市政に対するご意見やご提案もご記入いただけます！




☑ **前回号アンケートでご意見をいただきました。**（※ 回答一部抜粋）

・「所管事務調査」とは何でしょうか。専門用語には注釈を付けていただければ、と思います。
（★★★★☆ 50・60代 OG様）

・議会への、公の場所で市民からの質問などに対して直接対応していただける懇話会等を設けていただきたい。
（★★★★★ 70代以上）

・ページ数少ない、二次元コードの利用はなし、文字を大きく　（★★★☆☆ 70代以上 とし様）

**広報委員会委員から**

ご回答ありがとうございます。「文字を大きく」や「専門用語には注釈をつけて」などのご意見をいただきました。より分かり易い紙面のために今後の編集にいかしてまいります。また「市民からの質問などに対応する懇話会等」は「みんなで語る会」として本年度も開催しました。

## 編集後記

実りの秋、「実るほど頭を垂れる稲穂かな」の言葉がうかびます。人としての在り方を戒めた言葉だと理解しています。謙虚さこそ人格の現れ、謙虚さを忘れたくないですね。

現編集委員での議会だよりも最終となりました。議会の現状を限られたページ等々の中で、市民の皆様にいかに伝えるか、今後も委員一同紙面の充実に向けて、努めて参ります。

議会広報委員　鈴木　優治

## 議会傍聴・視聴のご案内

本会議はどなたでも傍聴ができます。インターネットによる生中継と録画配信も行っています。

議会中継・録画配信はこちら▶

傍聴に関するお問合せ（議会事務局）
Tel.0558-72-9906

編集　〒410-2413静岡県伊豆市小立野38-2
伊豆市議会広報委員会　☎0558-72-9906

次回は令和9年2月1日発行予定です。

議会ホームページ▼